

平成24年行政事業レビューシート (総務省)

事業名	電子行政モバイルアクセス推進事業		担当部局庁	情報流通行政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	情報流通振興課		課長 高橋 文昭		
会計区分	一般会計		施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第65号		関係する計 画、通知等	新たな情報通信技術戦略(平成22年5月11日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行 程度以内)	近年、携帯電話等のモバイル機器など多様な情報通信機器が急速に普及している一方で、電子行政サービスへのアクセス手段はパソコン利用が一般的となっている。本事業は、携帯電話端末内の安全なデバイスへ、ID・パスワードなどの本人情報を格納し、利用するモバイルアクセスシステムを確立し、携帯電話からの電子行政サービス利用における利便性を向上させることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	住民属性に応じた電子行政サービスの提供を実現するため、行政機関が、電子行政サービスを携帯電話から利用する住民向けに発行する情報を、オンライン・オフラインで安全に携帯電話端末内の耐タンパデバイス(※)へ格納・利用するモバイルアクセスシステムの実証実験を実施し、その成果の普及を推進する。 (※)耐タンパデバイス:物理的あるいは理論的に内部の情報を保護する機能を備えたICチップ搭載のデバイス。本事業ではセキュアSDカード及びSIMカードを想定。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	50	0	
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	50	0	
	執行額	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	技術的な仕様や課題の検討が目標であるため、定量的な指標は示せない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	実証事業の報告書 モバイルアクセスシステムの技術仕様案		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	-
					(-)	(-)	(2)	
単位当たり コスト	24,883 (千円/件)		算出根拠	予算額:49,766千円 実証実験の報告書、モバイルアクセスシステムの技術仕様:2件				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	電気通信技術研究開発調査費	49.4	0	24年度をもって事業終了。				
	諸謝金	0.2	0					
	委員等旅費	0.1	0					
	計	50	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	新IT戦略工程表において、電子行政サービスのアクセス手段の多様化について、NFC機能を備えた携帯電話からの利用を実現するための技術仕様を策定することを目的としている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業の成果を商用サービスへ実装するにあたり、実装に必要なコストは当該民間企業等の負担となるため、負担関係は妥当である。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	厚生労働省において、医療・介護分野での携帯電話の活用について検討しているところ。両省で事業を進めるにあたり、基盤は総務省、アプリは厚生労働省の役割分担で進めるべく調整をしているところ。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 「社会保障分野での情報連携のための携帯電話端末の活用に関する請負業務」(厚生労働省)	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>「新IT戦略工程表」(H22.5)に沿って、携帯電話からID情報を使った利用者確認を要するサービスを実現するためのモバイルアクセスシステムの技術仕様を策定するとともに、運用面・制度面での課題抽出を行う。事業を進めるにあたり、厚生労働省において医療分野での携帯電話の活用について検討していることから、厚生労働省との役割分担を明確にして事業運営を進めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	平成24年度をもって事業終了		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	初期の目標を達成する見込みであり、24年度をもって事業終了		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新24-0014

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者につ
いて記載する。費目と使途の
双方で実情が分かるように
記載）

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					